

## 歴史地理学野外研究 (13号より名称変更)

### 第17号 2016年3月

近世～近代の相模国津久井郡牧野村の集落構成と生業形態	高橋淳・王君香 ・中西僚太郎	1～23
昭和初期の岩手県気仙郡綾里村における津波災害への対応	辻本侑生	25～38
横須賀における米軍向け歓楽街の形成と変化	双木俊介	39～49
東京吉祥寺における都市観光資源としての昭和戦前期広告群	高橋珠州彦	51～57
近現代茨城県旧筑波郡および谷田部市街の活況とその後	小口千明・川崎俊郎 ・高橋淳・三津山智香 ・菊凜太郎・木村遼之 ・藤野哲寛・王君香 ・桜木真理子	59～94
昭和初期の三浦半島小網代湾における初声御用邸計画について	武田周一郎	95～130

### 第16号 2014年3月

軍港都市横須賀における宅地開発の進展と海軍士官の居住特性 —横須賀上町地区を中心として—	双木俊介	1～20
近代器の関東山地東麓における水力電気事業の展開と地域住民の対応 —津久井郡青根村における流木事業との関わりに注目して—	花木宏直	21～42
近代期の神奈川県津久井郡青根村における木炭生産と流通	高橋淳・中川紗智	43～51
柳川数一郎「日記書契」について	高橋淳・中川紗智 ・花木宏直	53～62
茨城県つくば市谷田部市街にみる往年のにぎわい	小口千明・高橋淳 ・上形智香	63～97

### 第15号 2012年3月

大正期～昭和後期の葉山町堀内地区における地元住民による別荘地経営の展開(〈特集〉三浦半島・葉山の歴史地理)	花木宏直・福田綾 ・水島拓磨・淵澤祐介	1～18
三浦丘陵における山野利用の変遷 —葉山町木古庭地区を中心にして—(〈特集〉三浦半島・葉山の歴史地理)	武田周一郎・岩田明日香 ・山石勉	19～34

明治～大正期の静岡県田方郡旧西浦村における柑橘産地の展開と外来種への対応  
－河内地区・海瀬伊右衛門家を中心に－

花木宏直 35～60

水産都市三浦三崎におけるマグロ料理と地域変化

小口千明 61～70

## 第14号 2010年3月

東京湾要塞地帯における第二・第三海堡の建設と住民の対応  
－横須賀・永嶋家にみる富津漁民との関わり－

花木宏直・山邊菜穂子 1～30

軍港都市横須賀における遊興地の形成と地元有力者の動向

加藤晴美 31～54

軍港都市横須賀における商工業の展開と「御用商人」の活動  
－横須賀下町地区を中心として－

双木俊介 55～80

農業からみる近代浦賀町の特質

吉村雅美・岩本和恵 81～116

横須賀市長井地区における沿岸集落の地域特性とその変遷  
－とくに商業と漁業の動向に注目して－

清水克志・武田周一郎  
・金谷千亜紀 117～144

近代三浦半島における生業形態からみた地曳網漁の様相  
－下浦地域を事例として－

田村真実・吉田国光  
・市川康夫 145～162

米と魚からみる港町の食生活  
－芸予諸島大崎下島御手洗における行商人と米穀商について－

渡部圭一 163～175

山梨県丹波山村旧役場文書の学術的意義に関する検討序説

小口千明・武田周一郎  
・花木宏直・田場川あゆみ 177～196

## 第13号 2009年3月

軍港都市横須賀の形成と土地所有の変遷  
－横須賀下町地区を事例に－

双木俊介・藤野翔 1～23

近代浦賀における商家経営とその変容  
－東浦賀・米穀問屋美川家を中心として－

加藤晴美 25～43

江戸・東京市場への鮮魚供給機能からみた三浦郡松輪村の地域的特質と その変容	清水克志	45～76
廻船寄港地御手洗町の繁栄とそのなごり －昭和20年代以前の景観と住民の暮らしの復原を通して－	清水克志	77～100
大崎下島御手洗における花街の景観と生活	加藤晴美	101～ 111

**第12号** 2006年3月

マグロ漁業根拠地三崎港の形成と商業機能の変遷	山下琢巳・山下須美礼 ・双木俊介	1～30
三浦半島における野菜生産地域の発展とその歴史的基盤 －下浦地域を事例として－	清水克志・清水ゆかり	63～91
浦賀湊の景観及び機能とその変容過程 －西浦賀を中心として－	加藤晴美・千鳥絵里	63～91
明治期西浦賀における問屋の経営の変遷 －宮井家と清喜丸の航海を中心として－	吉村雅美	93～111
浦賀の発展における浦賀ドックの意味	市村真美	113～ 131
銚子における紀州移民の定着と港町形成に果たした役割 －とくに興野地区の特徴形成と大新旅館を例として－	清水克志	133～ 153

第11号 2004年3月

銚子市川口神社を巡る漁業と信仰の変遷 —大正から昭和20年代を中心に—	松尾須美礼	1～14
「公正会」による民間社会教育事業と銚子の近代化における その意義	湯澤規子・高橋珠州彦	15～32
銚子漁港の整備とその歴史的背景	山下琢巳	33～48
銚子地域における近代利根川水運の動向	仙頭達朗・田邊千尋	49～66
松岸地区における遊郭の成立と展開	加藤晴美	67～84
海上郡における甘藷生産の展開	清水克志	85～104
<資料編> 一～二九		

第10号 2002年3月

容器の変遷からみた銚子における醤油醸造業と関連諸産業の展開	山下琢巳	1～16
銚子における地域間関係の変化 —円福寺寺院組織と飯沼観音支持者に見る—	蓼沼綾子	17～30
銚子市川口神社を巡る神事の変遷と信仰圏の形成 —銚港神社との比較から—	松尾須美礼	31～40
銚子沿岸地域における籐加工業と漁家経営 —伝統的家族経営における家族構成員の役割—	湯澤規子	41～54
観光拠点としての「犬吠」の形成と開発資本の動向	高橋珠州彦	55～70
銚子における水産缶詰製造業の展開 —原料魚と生產品目の変遷を中心として—	清水克志	71～94

『極東新聞』と越川芳麿  
——地方新聞から見る昭和期の銚子—— 水谷悟 95～112

明治中期の野尻河岸における積み荷記録「萬積帳」 仙頭達朗 113～128

**第9号** 2000年3月

下総国海上郡高神村の形成と紀州移民 三木一彦 1～18

漁業集落における女性の就業形態とその変容  
——銚子市長崎町を事例として—— 湯澤規子 19～32

野尻・小船木集落の景観及び機能的特徴  
——近世における河岸を中心として—— 渡辺康代 33～52

飯沼観音信仰と17世紀の銚子  
——「飯沼山観世音縁起」を中心に—— 山澤学・蓼沼綾子 53～74

銚子における水産加工業の展開と土地利用の変遷  
——飯貝根地区を事例として—— 山下琢巳 75～87

**第9号 別冊** 飯沼山円福寺の記録 2000年2月

飯沼山観世音縁起（明暦二年） 翻刻・解題 山澤学 1～5

釈迦涅槃図（寛文九年） 翻刻・解題 船杉力修 6～22

本堂再建記録（宝暦一二年～安永六年） 翻刻・解題 蓼沼綾子・山澤学 33～52

**第8号** 1998年3月

港町銚子の機能とその変容  
——荒野地区を中心として—— 船杉力修・渡辺康代 1～32

港町銚子における河岸の利用形態と商業活動 —飯沼地区を事例として—	山澤学・山下琢巳	33～58
外川の経済的機能とその歴史的背景	三木一彦	59～74
集落と耕地の景観 —銚子市大字八木を事例として—	岡村治・田中達也 ・滝野規子	75～96
銚子市小浜集落におけるキャベツ栽培の導入と展開	李鎔一	97～110
情報機能からみた銚子地域 —医薬情報の発信に着目して—	小口千明	111～ 118
銚子の女学生 —千葉県立銚子高等女学校同窓会誌『河畔』をもとに—	村上淳子	119～ 129

<史料編>

—～—三

<b>第7号</b> 1996年3月		
近世大宮町の形成過程	田中達也	1～15
秩父大宮における「町」の展開と機能 —秩父市中町を事例に—	船杉力修	17～33
秩父大宮における市街の拡大と商家の変遷	川崎俊郎	35～48
秩父郡大宮町における他国商人の定着 —中町・伊勢屋片山家を事例に—	山澤学	49～59
秩父絹の生産と流通に関する一考察	平野哲也	61～73
明治期～大正期の秩父地域における絹織物生産発展の一側面	原田洋一郎	75～87

1930年代の女学生 —秩父高等女学校の場合—	村上淳子	89～102
外秩父大野村における信仰の展開	三木一彦	103～ 116
神社祭礼等の寄附金額からみた混住化地域の社会関係 —埼玉県秩父郡横瀬町第14区を事例として—	小池太郎	117～ 132
<資料編>		
荒川村原およびその周辺の天狗祭り	高橋稔	135～ 147
秩父の道陸神焼き	高橋稔	149～ 154
定峰の小字地名と家号	小久保隆男	155～ 161
明治前期における秩父地方の生産基盤	稲村太郎	163～ 173
<b>第6号</b> 1994年3月		
戦国期における開発と村 —榛澤郡荒川村を事例として—	田中達也	1～16
戦国期定峰における村落社会の変容	平野哲也	17～27
定峰における新興地主の成長とその地域的背景	中嶋則夫	29～41
小森谷山地集落における山域利用と生業形態 —両神村小森煤川集落を中心として—	原田洋一郎	43～56
近世期秩父における伊勢信仰の展開 —吉田町太田部を事例として—	船杉力修	57～65
秩父地域における三峰信仰の受容と展開	三木一彦	67～79
戦国期秩父谷口集落における町場の形成 —大里郡寄居町における鉢形と寄居—	六本木健志	81～94

寄居六斎市の構成  
—寛永期市定を史料に用いて—  
岡村治 95～102

秩父大宮の都市形成と商業の変遷  
川崎俊郎・山澤学 103～  
・河野敬一 121

<史料編> 136～

**第5号** 1991年2月

西秩父における町形成と商業の展開  
—近世・近代の小鹿野町を事例として—  
岡村治・川崎俊郎 1～29

荒川村贄川における集落機能と生業形態の変化  
河野敬一・平野哲也 31～51

秩父山間集落の存立基盤とその変質  
—両神村薄を事例として—  
六本木健志・中嶋則夫 53～81  
・新井敦史

近世期における鉱山開発と中津川村  
原田洋一郎 83～98

秩父両神村における修験の展開と変質  
椿真智子・城戸貴子 99～120

<資料編> 142～

**第4号** 1989年2月

那須西原扇央部旧集落の生活様式の変遷  
—塩原町上横林地区を事例として—  
中西遼太郎・原田洋一郎 1～26  
・住田勝宏

西那須野における開拓集落の変容と地域的特色  
—那須開墾社開拓地を事例として—  
椿真智子・満田宏子 27～52  
・幸田一男・中嶋則夫

限界地立地集落の発展の一類型  
—黒磯市戸田地区を事例に—  
岡村治・石井卓 53～75  
・木村穂高・宮本康宏

黒磯市埼玉地区における開拓集落の変容  
河野敬一・野木夕起子 77～103  
・川崎俊郎